

## 年間指導計画表

教科・科目	理科・科学と人間生活	単位数	2単位
		学科・学年・学級	普通科・創造表現 第1学年

## 1 学習の到達目標等

学習の到達目標	自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
使用教科書・副教材等	教科書:科学と人間生活(啓林館) 問題集:科学と人間生活の学習ノート(啓林館)

## 2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	各テーマにおいて、興味・関心を持って取り組んでいるか。授業・実験・観察に意欲的に取り組み、より深く理解しようと努めている。	提出物 小テスト 授業態度	10%
b. 思考・判断・表現	各テーマにおいて、科学的な事物・現象について疑問を持ち、問題点を科学的に考察し、そこから導き出した考えを表現することができる。	考查 小テスト レポート 授業態度	20%
c. 技能	各テーマにおいて、実験・観察の技能を習得しているか。また観察・実験の過程や結果をまとめ、考察した考えを表現できる。	考查 レポート 授業態度	10%
d. 知識・理解	各テーマにおいて、科学的な事物・現象について基本的な概念や原理・法則を理解し、それを知識として身につけている。	考查 提出物 小テスト	60%

## 3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					a	b	c	d	
前期前半 (第1回)	4	20	オリエンテーション 1. 科学技術の発展 ①科学技術の発展  2. 生命の科学 ②生物と光 ③微生物とその利用  第1回考查	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて、興味を持ちながら歴史的な背景とともに理解している。</li> <li>植物の生育、動物の行動及びヒトの視覚と光とのかかわりについて、実験を通して体の構造と関連づけて理解している。</li> <li>様々な微生物の存在と生態系での働き、微生物と人間生活とのかかわりについて、身近な生物に興味を持ち、他者との交流を通して協同的に理解している。</li> </ul>	○			○	
	5						○	○	
	6				○			○	
【第1回の評価方法】 第1回考查、小テスト、提出物(実験レポートを含む)、授業態度を総合的に評価する。									

前期後半 (第2回)	6 7 8 9	16	2. 物質の科学 ①材料とその再利用 ②衣料と食品 第2回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な物質の基本となる元素の性質や構造、周期表などについて理解している。</li> <li>・身近な材料であるプラスチックや金属の種類、性質などに興味を持ち、日常生活の中にある物質を基に考察し理解している。</li> <li>・身近な材料の用途と資源の再利用について、他者と協同的に考察しながら理解している。</li> <li>・身近な衣料材料の性質や用途、食品中の主な成分の性質について、実験を通して化学的な反応を基に理解している。</li> </ul>	○	○	○	○
	【第2回の評価方法】 第2回考査, 小テスト, 提出物(実験レポートを含む), 授業態度を総合的に評価する。							
後期前半 (第3回)	10 11 12	14	3. 光や熱の科学 ①光の性質とその利用 ②熱の性質とその利用 第3回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光を中心とした電磁波の性質とその利用について、身近な気象現象や大気中での現象を観察し、その原理や法則を理解している。</li> <li>・熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日本や地球規模での現象を参考にしながら、他者との理解する。</li> </ul>	○	○	○	○
	【第3回の評価方法】 第3回考査, 小テスト, 提出物(実験レポートを含む), 授業態度を総合的に評価する。							
後期後半 (第4回)	1 2 3	20	4. 宇宙や地球の科学 ①身近な天体と太陽系における地球 ②宇宙のすがた 第4回考査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽や月などの身近に見られる天体と人間生活とのかかりについて、観測実験を通して、俯瞰的に理解している。</li> <li>・太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴を、太陽系内の様々な天体についての調べ学習を通して、協同的に理解している。</li> <li>・太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び恒星としての太陽の進化と一生について、興味を持ちながら理解している。</li> <li>・宇宙の誕生と銀河の分布などの、現在の宇宙のすがたについて、疑問点を取り上げながら、他者との意見交流を通して、協働的に理解している。</li> </ul>	○	○	○	○
	【第4回の評価方法】 これまでの評価を加味し、総合的に評価する。							
【年間の学習状況の評価方法】 前期前半から後期後半までの評価を総合し、年間の評価とする。								